

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	コストマネジメント小委員会	主 査 名：志手一哉 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会	委員長名：野城 智也
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	持続性のある社会資本として建築の価値向上と有効活用に寄与すべく、建築を取り巻く様々なコストとそのマネジメント手法を体系的に整理して、教育、普及に資する研究を行うことを目的とする。 初年度：建築に関するコスト情報活用の整理、検討 2 年度：コスト情報活用に応じた算定手法の検討、整理 3 年度：コスト管理職能・教育の検討 4 年度：コストマネジメント教育システムや教材の整理・開発	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：志手一哉 (芝浦工業大学) 幹事：橋本真一 (エムズラボ)、伊藤一義 (日本設計) 委員：堤洋樹 (前橋工科大学)、杉田洋 (広島工業大学)、石田航星 (早稲田大学)、磯部正 (建設業振興基金)、岩松準 (建築コスト管理システム研究所)、浦江真人 (東洋大学)、遠藤和義 (工学院大学)、齊藤隆司 (日本郵政)、三原斉 (ものづくり大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2019 年度予算	75,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 建築計画、建築生産、維持管理、運営に必要なコスト情報を、買い手、融資、つくり手における価値の考え方の違いという体系的な枠組みに整理できた
委員会活動の問題点・課題	1. 次期活動で、2021 年度建築学会大会における研究協議会/PD の開催に向けて、現在検討している内容の事例を収集することが必要